

SSKS 風の子便り

ひとりぼっちの障害者をなくそう



ぶら〜り 代々木公園の旅

目次

アースデイ	2
署名・募金の報告	3
虫めがね パート1	4
虫めがね パート2 夕会、スケジュール	5
学習会、寄付のお礼	6
小野塚さん連載	7
編集後記	8

2009年
6
月号



一九七〇年、アメリカのネルソン上院議員が四月二十二日を”地球の日”であると宣言しました。地球環境を考えるこの運動が日本にも広がり、今では毎年代々木公園周辺で大規模なイベントが開催されています。

アースデイとは？



五月には五月晴れ、六月は梅雨の時期となる今日この頃、皆さまの体調はいかがでしょう。これから、本格的な夏が訪れます。食中毒に気をつけましょう。
田中 聡



行ってきました！
見ってきました！

アースデイ



内田さんと矢代さんと一緒の班で行動した。木から作られたハガキが売られていた。凄く人が混んでいた。ハガキ作成の体験コーナーが有って参加したかったけど、人がいっぱいいて時間が遅かったからか、募集が締め切られていて参加できなかった。色んな商品が売られていたけど、人が沢山居たから人が壁になり、あまり店（品物）を見る事が出来なかった。

朝生 孝之

代々木公園を横切ってバザー会場に

4月18日（土）に、風の子会で代々木公園にて地球温暖化を考えるという目的とした、アースデイを見に行ってきました。それは、フリーマーケットやみなと区民祭りとは少し違い、エコにちなんだ商品が売られていたり、イベントなどが行われていました。このようなイベントを行っておくことは大切なことですし、一人一人の心がけも大切なことと改めて認識をしました。当日参加していただいた、ボランティアさんありがとうございました。



田中 聡



きょうされん 第32次国会請願署名・募金の最終報告

今回の「きょうされん32次国会請願署名・募金」も、多くの方のご協力により、沢山の署名と募金を頂くことが出来ました。風の子会に寄せられた署名・募金、また4月3日にJR田町駅で行った街頭署名・募金を合わせた最終の署名数と募金額をここにご報告いたします。

7割はきょうされんに送金しました

加入者名	きょうされん東京支部			
金額	千	百	十	円
	4	3	6	00
おなまえ	風の子会			
依頼人	様			
料	330	日	21-04-28	印
金	円		港芝浦	郵便局

4月末日 最終集計
署名数・・・266筆
募金額・・・6万4452円

皆様の思いが込められた署名は、きょうされんで取りまとめて、代表団により国会に提出します。

また、いただいた募金は請願運動の資金やきょうされんの様々な活動のために、大切に使用させていただきます。

署名用紙を実習所にご郵送された皆様、署名にご協力下さった皆様、募金を下さった皆様、街頭でお声をかけていただいた皆様にこの場を借りて厚くお礼を申し上げます。ありがとうございました。

署名担当 丸岡秀明・矢代奈津三

加入者名	きょうされん東京支部			
金額	千	百	十	円
	3	7	5	2
おなまえ	風の子会			
依頼人	様			

作業所の活動資金としての3割の内、少しですがきょうされんが支援している「自立支援法訴訟」の活動資金に寄付させていただきました。



風企画

今実習所では、風の子会の30周年を記念したビデオを作ることになりました。第1回目の今日は、実習所の職員さんが僕を、着替えさせて車椅子から表に出してくれるシーンを録りました。ものすごく緊張してしまいました。僕は緊張しながら思いました。僕は映画スターにはなれないなあ。

会報の誌面をより充実させるためには何かいいアイデアはないだろうかと、企画のみんなで頭を捻り合わせました。その結果、代々木公園で催されているアースデイというイベントに行ってみようということになりました。その時の様子を今月号のトピックとして載せています。これからいろいろとアイデアを考え、会報を盛り上げていきたいと思っています。

太田 稔

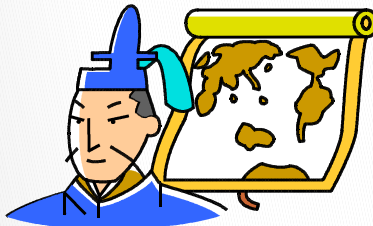
実習所便り

風工房

工房会議をやりました。ハナミズキの1年間の話をやりました。商品の個数や、総売上の話をしました。内職の話があったのですが、期限が合わなかったので断りました。商品のビーズはよく売れているので、もっとたくさん作りたいという話が出ました。新製品の話が出ましたが、まだ思案中です。和紙の色を変えてやってみようという話が出ました。さっそく色紙を使って青や緑のはがきを作っています。上手に出来ていると思います。内職はいつもの箸入れをやりました。

福島 基予子

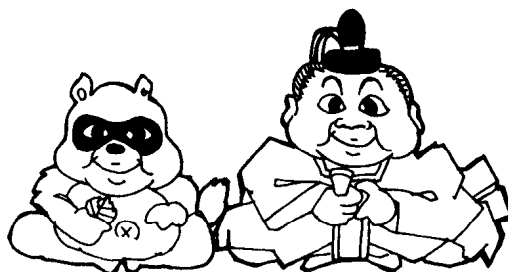
虫めがね



今回もテーマは『歴史上の好きな人物』です。担当メンバーは和栗さん、三木さん、佐久間さん、太田圭子さんです。



最終グループさんはどんな人が好きなのでしょう？



私は昔から歴史には興味が無くて無関心、ただ特に戦国時代の三人の武将の名前と性格は、よく、鳴かないウグイスの取り扱いをどうするかで表せられるが、江戸っ子で気が短い私は三人の中で、織田信長が一番好きだと云うてきた。生まれつき脳性マヒで身も心も自分では絶対に動けない、重い鎧を着せられていた私は自由奔放に生きる信長が羨ましいと思っただけからだろう。でも今年のNHKの大河ドラマ「天地人」を観ていて上杉謙信の人となり、ある程度知りつつかり心変わりをしてみました。信心深くて敵に（武田信玄）塩を贈るような、心広くて温かい人柄の謙信が好きだとこれからは云おうと思っただけ。



太田 圭子

人は、みんな長所と短所を持っている。だから、歴史上の人物でも、どちらを多く取るかで、その人物の評価が決まってしまうのである。私が選んだ三人の人物、歴史の順番に織田信長・徳川家康・坂本龍馬、この三人を選んだ。織田信長、短気で、情けない恐ろしい殿様と思われている。これは短所である。信長は、常に未来を見つめていた。珍しい新しい物が好きで、日本で初めて洋服（オランダの服）を着たのは、信長であった。洋服を着て靴を履いて、ガラスのグラスにぶどう酒を飲み、得意げな信長には、天下を統一した暁には、広く世界の国々との貿易を盛んにして、諸外国の進んだ文化・優れた文明の利器日本を豊かな国にしたいと願っていた。信長自身も外国に行ってみたかったに違いない。本能寺の変がなければ、恐らく日本の文明開化は二百五十年も前に花開いていたであろう。余談ですが、明智光秀がもし家康の家臣でいたら、きっと光秀の才能を十分に生かして思う存分の働きができ、大名になって、明智家を代々繁栄を続けたではなからうか。私は、家康の忍耐強さが好きです。

和栗 頭太郎



僕が尊敬する人はグラフィックデザイナーの田中一光さんです。一光さんは日本のグラフィックデザインのレベルを世界に通用するところまで引っ張ってきた立役者のひとりです。その仕事はものすごく幅広くて、また膨大な量の仕事を残しています。一光さんは2002年に71歳で亡くなっていますが、計算するとほぼ3日にひとつのペースで作品を残しています。



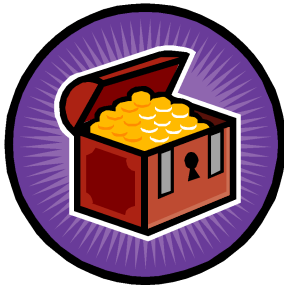
有名なところでは西武グループや無印良品、ロフトのアートディレクション、数々の本の装丁、ファッションデザイナーとのコラボ、企業のCIマークなどなど・・・皆さんも知らずに一光さんの作品を目にしているはずですよ。

彼自身エッセイの中でこう述べています。「デザインは、苦業であってはならない。（中略）締め切りに追われてどうにもならない（中略）そういう場合には苦渋に陥る直前で、エイッとばかりに思い切る。締め切りを逆手にとって決断の勇気を出すわけだ」。一瞬一瞬に迷うことなく、しかも妥協のない作品を生み出し続けたところに、彼の底力が示されていると思いました。

一光さんのデザインは常に斬新で、異質なものを組み合わせたり視点をちょっとずらしたりすることで、見る人に新鮮な驚きを常に与えている気がします。独り善がりの自己表現ではなくクライアントや消費者の要求を理解する姿勢を忘れなかったことも、素晴らしいと思いました。

妥協ばかりせず、プロ意識を持って仕事をする大切さを一光さんから教えてもらった気がしました。

佐久間 庸



私の好きな歴史上の人物は、天下の大泥棒、石川五右衛門です。彼は最後に釜ゆでの刑に遭いますが、彼は決して庶民から金品を奪わず殺しもしない。盗みにはいるのは武将からと決めていたそうです。そして最後の言葉は「天網かいかいそにしてもらさず」という言葉を残して刑に遭ったそうです。美学のよいうなものが感じられます。

三木 直人



タカラ歌謡

四月十一日 歌と踊りについて

劇の配役や個々の配置・動き方、歌を歌うタイミングやアクションを起すタイミング等を決めました。

四月二十五日 歌と踊りについて

振りや歌等を本番と同様に通して行いました。もともと通して練習をして上手になり、本番を迎えたいです。

五月二日 歌と踊りについて

振りのみですが、通して入念に練習を行いました。

田村 亮彦

スケジュール

5月24日（日）外に出よう本番

5月25日（月）振替休日

* 雨天の場合は5月31日（日）に延期

延期の場合は6月1日（月）振替休日

6月13日（土）定例総会

7月11日（土）歌とおどりの集い

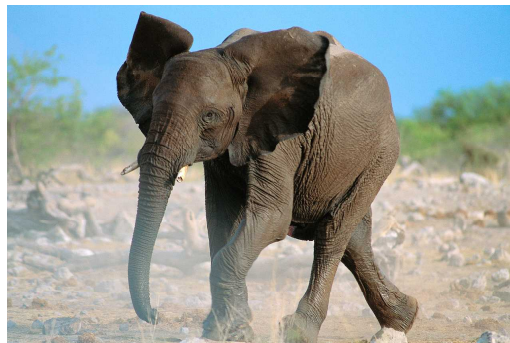
4月8日【歌と踊りの詩、世界動物百科】

歌と踊りの詩を書いた。俳句に短歌、詩をみんなで書いた。良い作品が出来たと思います。7月11日の本番に詠んでもらえたらうれしい。

世界動物百科を丸岡さんが丁寧に解説してくれました。資料を使って講義した。ライオンやアフリカ象は怖い。アフリカ象は記憶力がよく、いじめたら覚えているの。いじめた人が目の前にいたら殺すの。恐ろしいの。そういうことを教えてもらいました。丸岡さん良かったらまた今度やってください。

学習会

松本 恵司



4月15日【世界天才の話、ギリシャ神話】

世界の天才を岡本さんが教えてくれました。まずエジソンの話をしてくれました。蓄音機を発明した人です。他にキューリー夫人の話もしてくれました。おもしろかった。

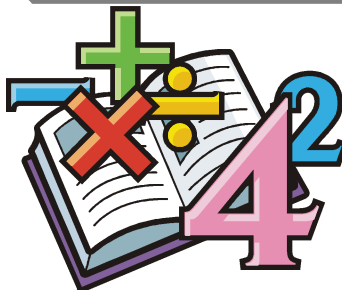
ギリシャ神話は小野塚さんが講師をしてくれました。それを内田さんが読んでくれました。12星座にまつわるギリシャ神話の話をしてくれました。

4月22日【算数・山の話】

テーブルゲームの予定でしたが、やらなくて小野塚君さんの算数クイズと山の話をしました。難しく大変な思いをしました。難問で頭がまっしろになった。

山の話は小林君がやったよ。チョモランマの写真を見せてもらった。

北アルプスや富士山を登った。新1年生の時に夏合宿に行きました。帰りたくなかったので、青春18キップを使い、青森、仙台等まわって帰りました。写真をみせてもらいましたが山の風景きれいでした。感動をしたよ。



寄付のお礼

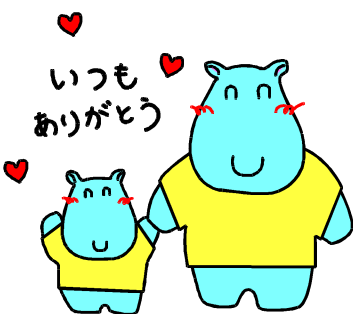
四月五日〜五月九日

賛助会にご寄付下さった方

- | | | |
|---------|--------|--------|
| 佐久間健様 | 松本成子様 | 内田茂様 |
| 滝口雅祥様 | 長谷川誠様 | 松本みづえ様 |
| 松本浩美様 | 中井英代様 | 谷島イクエ様 |
| 春名千代美様 | 森美代子様 | 岡竹徹様 |
| 元井正子様 | 和田省三様 | 岡本和子様 |
| 山本喜美枝様 | 長坂富紗子様 | |
| 木田節子様 | 天海喜美子様 | 鈴木公子様 |
| 神谷之和様 | 中村恭子様 | 司城不二様 |
| 末吉ミヨ子様 | 伊野秀信様 | 綱島辰也様 |
| 田中マサ子様 | 染谷寿美恵様 | 仙頭邦子様 |
| 牛島紀子様 | 吉本道子様 | 原田洋子様 |
| 丸毛波津様 | 新井ミヨ様 | 山岸久雄様 |
| 阿部りょう子様 | 伊藤隆夫様 | 近藤綾子様 |
| 反町美佐子様 | 小倉英克様 | 山形和子様 |
| 飯尾直美様 | 井伊俊夫様 | 大野誠様 |
| 匿名様 | | |

ありがとうございました

いつも
ありがとう



わたるのドミトリーライフ

【ドミトリーとは英語の dormitory つまり寮という意味】

第18話 カラオケという魔力

今ではどうなのかわからないが、僕の学生時代はカラオケブームのちょうど全盛期だった。ある程度の人数が部屋に集まり、誰かが「カラオケ」の「カ」の字を言いかけた途端に行こう！という段取りになる。男子ばかりの集まりだと麻雀かドライブという展開が多いのだが、部屋に女子が来ることによってカラオケという新しいファクターが加わることになったのだ。

カラオケは、高校の頃から友人と行きはじめた。当時盛り上がった歌は“リンダリンダ”や“ダイヤモンド”だったか（古き良き80年代後半だ）。その頃は酒も飲まずに男ばかりでボックスでよく暴れまくっていたものだ。カラオケは浪人中もよく行っていた気がする。それが2浪という結果に繋がったのなら情けない話だ。

寮生がカラオケに出かけるのはだいたい夜の11時過ぎくらいだ。S先輩の車か、相部屋のHの車か、あるいはその2台共か、集まったその時のメンバーによってパターンは多少変わるが、その時に出せる車に乗れるだけ乗り込んでカラオケボックスへ向かう。車で30分くらいの距離にある、町田駅からやや離れたところにあるボックスが、僕らが行く定番の店となっている。僕が卒業して1、2年後にその店はなくなってしまったが、今でもその店の名ははっきりと覚えているし、とても思い出深い名だ。店に着き車を止めて部屋が空いているかを確認する。満席で待つときもあればすんなりと入れるときもある。まあそれは時の運だ。部屋に入るととりあえず人数分の中ジョッキを注文する。ビールがくるまでに誰かが既に曲をリクエストして歌い始める。1曲目が終わった頃にビールが揃い、みんなでジョッキを掲げて「かんぱーい！」となる。

当時90年代前半はTKプロデュース真っ盛りの時代だった。僕は彼がバンドにいた頃から熱狂的なファンだったので、カラオケでも何曲もリクエストしていた。僕が歌う訳ではないが、僕が曲を入れると必ず誰かが歌ってくれた。それに合わせて僕も声を出し、時には踊ったり、みんなと一緒にしゃいでいた。後輩のNもカラオケに行く常連だった。じゃれあったりばかしあったり、時には悪ふざけをしたりとボックス内でいろんなことをしたものだ。酒を飲みながら歌を歌い、はしゃぎまくればそこに不健全さが混じってくるのは当然だ。「若気の至り」とはよくいったものだ。

カラオケボックスの閉店時間は朝の5時。たいていはその時間まで歌い続ける。夏の初めの頃だと店を出る頃には東の空から朝陽が上がり始めている。そんな中、声を枯らした酔っぱらいがへとへとになりながら車に乗り込んで寮への帰途に着こうとしている光景は、他所から見れば何とも滑稽に見えたことだろう。

そうして寮の部屋に辿り着けば、ベッドに直行するのは目に見えている。これが、僕の3年目の自墮落のもう一つの理由だ。 ～ 第19話につづく ～

